

「ちゃばら」滋賀県コーナーのオープン (9/13) について

～滋賀の魅力を食で結び、「滋賀・びわ湖ブランド」を発信～

1 目的

首都圏において、食の販売を通じて滋賀の魅力を発信するとともに、県産品の販路開拓支援を行うことを目的に、秋葉原「ちゃばら」内の「日本百貨店 しょくひんかん」に滋賀県コーナーを開設する。

2 概要

場所 「ちゃばら - CHABARA AKI-OKA MARCHE -」
(東京都千代田区神田練堀町 8-2)

- ・ 「日本各地の食文化の情報発信基地」をコンセプトに、平成 25 年 7 月にオープンした、㈱ジェイアール東日本都市開発の商業施設
- ・ 来訪者数は平日約 1,000 人、休日約 2,500 人

規模 「日本百貨店」の店舗 180 坪 (約 594m²) のうち、約 15 坪 (約 50m²)

内容 滋賀の食、ココール選定商品の販売・情報発信
(約 100 事業者、約 250 点)

- ・ みずかがみ、近江牛カレー、鮒ずし、ピワマス等の湖魚加工品、近江の茶等約 100 点、ドレッシング、漬物等農産加工品約 60 点、菓子類約 60 点、地酒約 30 点 計約 250 点
- ・ 什器には、びわ湖材、高島帆布を使用

経費 年間使用料 約 900 万円 (ただし、H27 年度は約 680 万円 (9 か月分))
他に、初期投資として、保証金、備品什器等 約 1,500 万円

3 オープニングイベント

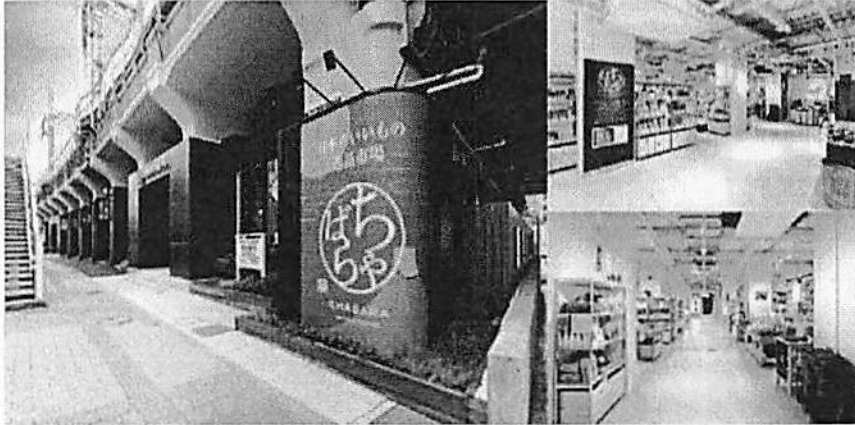
日時 平成 27 年 9 月 13 日 (日) 10:50～

- 内容**
- 知事とゲストによるトークショー
 - 高橋ひかるさん (2014 年全日本国民的美少女コンテストグランプリ) と味わう滋賀の食
 - 松尾貴史さん (タレント・俳優・コラムニスト) と語る滋賀の地酒
 - 県産品の試食・試飲
 - 長浜ご当地ユニット「Can'ce♡浜姫」による福袋争奪じゃんけん大会
 - 「甲賀もち工房」による餅つき

「ちゃぼら」

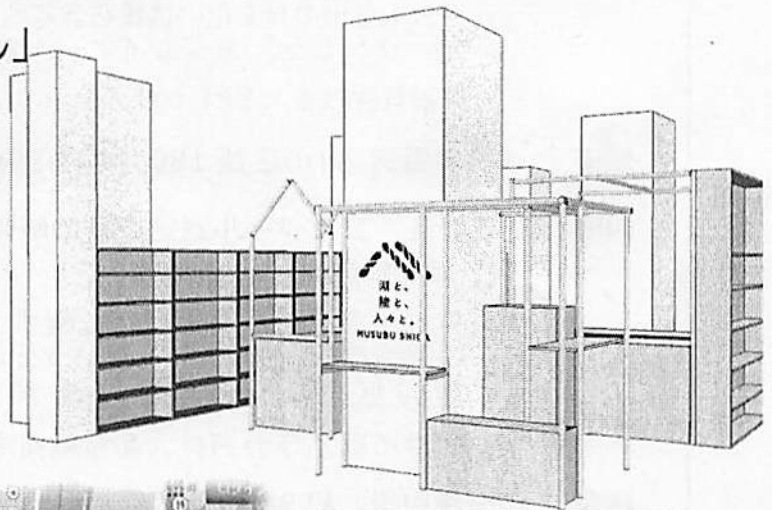
かつての青果市場跡（通称 やっちゃば）に、日本各地の食文化の情報発信基地として、JR 高架下に誕生（JR 秋葉原駅、電気街口徒歩 1 分）

（営業時間：11:00～20:00、休日：元日、6月の第一水曜日、11月の第一水曜日）



「日本百貨店しょくひんかん」

作り手と消費者の出会いの場をコンセプトに、バイヤーが全国各地のこだわりの逸品を、見せる、売る、という発想で運営する「ちゃぼら」の中核テナント



滋賀県コーナー

